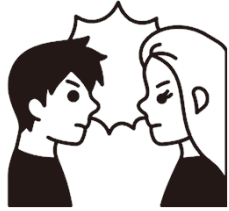




大学生の今だから言えることだけの話（その1）

小笠原ゼミチーム編



道議会議員との意見交換会まで、6カ月以上の準備を要しました。小笠原ゼミチームは、熱血集団であるため、テーマ設定や方向性議論で意見が対立して喧嘩が勃発したとか、しないとか。そうした経験も乗り越えながら、子どもたちの「体験格差」の解消に向けた提言を行いました。



かなり緊張してたでしょ？
控室の顔と全然違うし（笑）



チーム崩壊したり、色々と乗り越えてきたよね！一時はどうなるのか…と思ったが、やり切ったね！



今回で、覚醒した？
（笑）



ここからが、本当の課題だよね。どうする？



どうだったの？



早！（笑）
愛を感じる！

6カ月間も準備してきて、その思いが強くて硬くなったかな？後半は自分の言葉で話しできたと思います。



自分たちだけでは、立て直すことはできなかったと思います。色々な方からのアドバイスがなかったら、大変なことになっていたかと。



全然してませんよ。今回の提案で、子どもたちの体験格差をなくしたいと訴え、議員の方々から可能性と課題について、たくさんの意見をいただいたので、カタチにしないと…



学生が、継続的に地域と連携して、小さな課題解決を目指す取り組みを支援してほしいと地域連携課に相談しています。



もう、支援策ができてた！



いいよね！
サツダイ！



大学生の今だから言えることだけの話（その2）

岩本・石井ゼミ合同チーム編



意見交換のテーマである
「空手エクササイズ」って？

空手の動作が、高齢者の筋力強化や転倒予防になると考えていたその矢先に、おばあちゃんが転倒して骨折してしまった。もっと早く行動を起こしていればと後悔しています。



空手の動作が転倒予防？

空手は、足で地面をしっかりと、つかもうとすることが特徴的で、あわせて膝の柔軟性も高められるはずと考え、卒論研究とあわせて、道議会との意見交換会に参加することに！



誰を対象に調査を？

岩本先生に、日時と場所を示されて、西岡福住地区センターに行ってみると、健康体操サークルの方を紹介されて、まずは一緒に体操を1時間。すっかり意気投合して、空手エクササイズの話をしたら、たくさんの方が参加したい！と言ってきて、調査協力者が見つかりました。



岩本先生に
仕組まれた？

完全に仕組まれていたね！
岩本先生には導いてくださって、ありがとうございますと言っておきました。（笑）



この取り組みから感じたこと

2班の提案からは、少子高齢化と過疎化が進む現代において、若者が集う大学が中心となって、地域と若者を繋ぐ架け橋となり、新たなコミュニティづくりを担えるという可能性を示してくれました。現代社会では、身近にあるものが見えにくくなったり、そのことから目をそらす傾向が強まっているように思います。だからこそ、札幌大学は、地域の方々と共に新しい可能性を創るという「地域共創」の学びに力を入れているのです！

学生が提言した内容は札幌大学地域連携センター
ニューズレターvol38をご覧ください → → →

